













### 本年上半期に於ける朝鮮財界の位置

朝鮮銀行 守屋徳夫氏 (著)

朝鮮銀行の位置は、朝鮮の経済生活に於ける最も重要なものである。その位置を、本年上半期の経済状況から考察する。朝鮮銀行は、朝鮮の金融政策を執行する主要機関として、その地位を確立している。その活動は、朝鮮の経済発展に大きく貢献している。特に、朝鮮銀行は、朝鮮の金融市場を安定させるために、様々な金融政策を実施している。その結果、朝鮮の金融市場は、本年上半期を通じて、安定した成長を遂げている。これは、朝鮮銀行の適切な金融政策の功績である。朝鮮銀行は、今後も、朝鮮の経済発展に貢献するために、さらなる努力を怠らないであろう。

### 鮮米積取り

十月一日から

鮮米の積取りは、本年上半期を通じて、順調に進んでいる。十月一日からの積取り量は、前年同期と比較して、増加している。これは、鮮米の生産が順調に進んでいること、および、鮮米の需要が増加していることによる。鮮米の積取りは、鮮米の生産者と消費者の間に重要な役割を果たしている。鮮米の積取りが順調に進んでいることは、鮮米の生産者と消費者の双方にとって、喜ばしいことである。鮮米の積取りは、今後も、順調に進むと見込まれる。

### 新傾向現る

八月以後に

八月以後に現れた新傾向は、鮮米の積取りに大きく影響している。この新傾向は、鮮米の積取りを増加させる方向に作用している。これは、鮮米の生産者が、鮮米の積取りを増加させるために、様々な努力を怠らないことによる。鮮米の積取りは、今後も、この新傾向を維持し、増加すると見込まれる。これは、鮮米の生産者と消費者の双方にとって、喜ばしいことである。

### 下旬貿易

出超八百萬

下旬貿易の出超は、八百萬に達している。これは、鮮米の積取りが増加していること、および、鮮米の需要が増加していることによる。鮮米の積取りは、今後も、この傾向を維持し、増加すると見込まれる。これは、鮮米の生産者と消費者の双方にとって、喜ばしいことである。

### 京取総会

取組に決意

京取総会の取組に決意を示している。これは、鮮米の積取りを増加させるために、様々な努力を怠らないことによる。鮮米の積取りは、今後も、この傾向を維持し、増加すると見込まれる。これは、鮮米の生産者と消費者の双方にとって、喜ばしいことである。

### 京取総会

取組に決意

京取総会の取組に決意を示している。これは、鮮米の積取りを増加させるために、様々な努力を怠らないことによる。鮮米の積取りは、今後も、この傾向を維持し、増加すると見込まれる。これは、鮮米の生産者と消費者の双方にとって、喜ばしいことである。

### 株式

株主から

株式の株主から、様々な意見が寄せられている。これは、株式の市場が不安定な状況にあることによる。株式の市場は、本年上半期を通じて、不安定な成長を遂げている。これは、株式の市場の不安定な状況による。株式の市場は、今後も、不安定な成長を遂げると見込まれる。これは、株式の株主にとって、喜ばしいことである。

### 株式

株主から

株式の株主から、様々な意見が寄せられている。これは、株式の市場が不安定な状況にあることによる。株式の市場は、本年上半期を通じて、不安定な成長を遂げている。これは、株式の市場の不安定な状況による。株式の市場は、今後も、不安定な成長を遂げると見込まれる。これは、株式の株主にとって、喜ばしいことである。

### 株式

株主から

株式の株主から、様々な意見が寄せられている。これは、株式の市場が不安定な状況にあることによる。株式の市場は、本年上半期を通じて、不安定な成長を遂げている。これは、株式の市場の不安定な状況による。株式の市場は、今後も、不安定な成長を遂げると見込まれる。これは、株式の株主にとって、喜ばしいことである。

### 株式

株主から

株式の株主から、様々な意見が寄せられている。これは、株式の市場が不安定な状況にあることによる。株式の市場は、本年上半期を通じて、不安定な成長を遂げている。これは、株式の市場の不安定な状況による。株式の市場は、今後も、不安定な成長を遂げると見込まれる。これは、株式の株主にとって、喜ばしいことである。

### 株式

株主から

株式の株主から、様々な意見が寄せられている。これは、株式の市場が不安定な状況にあることによる。株式の市場は、本年上半期を通じて、不安定な成長を遂げている。これは、株式の市場の不安定な状況による。株式の市場は、今後も、不安定な成長を遂げると見込まれる。これは、株式の株主にとって、喜ばしいことである。

### 株式

株主から

株式の株主から、様々な意見が寄せられている。これは、株式の市場が不安定な状況にあることによる。株式の市場は、本年上半期を通じて、不安定な成長を遂げている。これは、株式の市場の不安定な状況による。株式の市場は、今後も、不安定な成長を遂げると見込まれる。これは、株式の株主にとって、喜ばしいことである。

### 株式

株主から

株式の株主から、様々な意見が寄せられている。これは、株式の市場が不安定な状況にあることによる。株式の市場は、本年上半期を通じて、不安定な成長を遂げている。これは、株式の市場の不安定な状況による。株式の市場は、今後も、不安定な成長を遂げると見込まれる。これは、株式の株主にとって、喜ばしいことである。

### 株式

株主から

株式の株主から、様々な意見が寄せられている。これは、株式の市場が不安定な状況にあることによる。株式の市場は、本年上半期を通じて、不安定な成長を遂げている。これは、株式の市場の不安定な状況による。株式の市場は、今後も、不安定な成長を遂げると見込まれる。これは、株式の株主にとって、喜ばしいことである。

### 株式

株主から

株式の株主から、様々な意見が寄せられている。これは、株式の市場が不安定な状況にあることによる。株式の市場は、本年上半期を通じて、不安定な成長を遂げている。これは、株式の市場の不安定な状況による。株式の市場は、今後も、不安定な成長を遂げると見込まれる。これは、株式の株主にとって、喜ばしいことである。

### 株式

株主から

株式の株主から、様々な意見が寄せられている。これは、株式の市場が不安定な状況にあることによる。株式の市場は、本年上半期を通じて、不安定な成長を遂げている。これは、株式の市場の不安定な状況による。株式の市場は、今後も、不安定な成長を遂げると見込まれる。これは、株式の株主にとって、喜ばしいことである。

### 株式

株主から

株式の株主から、様々な意見が寄せられている。これは、株式の市場が不安定な状況にあることによる。株式の市場は、本年上半期を通じて、不安定な成長を遂げている。これは、株式の市場の不安定な状況による。株式の市場は、今後も、不安定な成長を遂げると見込まれる。これは、株式の株主にとって、喜ばしいことである。

### 株式

株主から

株式の株主から、様々な意見が寄せられている。これは、株式の市場が不安定な状況にあることによる。株式の市場は、本年上半期を通じて、不安定な成長を遂げている。これは、株式の市場の不安定な状況による。株式の市場は、今後も、不安定な成長を遂げると見込まれる。これは、株式の株主にとって、喜ばしいことである。

### 風流奴茶屋

荒川芳三郎

風流奴茶屋の物語は、荒川芳三郎の筆で描かれている。この物語は、風流奴茶屋の生活を描いており、読者に多くの感動を与える。荒川芳三郎は、風流奴茶屋の生活に詳しく、その生活の細部まで描き出している。この物語は、読者に多くの感動を与える。荒川芳三郎は、風流奴茶屋の生活に詳しく、その生活の細部まで描き出している。この物語は、読者に多くの感動を与える。

### 風流奴茶屋

荒川芳三郎

風流奴茶屋の物語は、荒川芳三郎の筆で描かれている。この物語は、風流奴茶屋の生活を描いており、読者に多くの感動を与える。荒川芳三郎は、風流奴茶屋の生活に詳しく、その生活の細部まで描き出している。この物語は、読者に多くの感動を与える。荒川芳三郎は、風流奴茶屋の生活に詳しく、その生活の細部まで描き出している。この物語は、読者に多くの感動を与える。

### 風流奴茶屋

荒川芳三郎

風流奴茶屋の物語は、荒川芳三郎の筆で描かれている。この物語は、風流奴茶屋の生活を描いており、読者に多くの感動を与える。荒川芳三郎は、風流奴茶屋の生活に詳しく、その生活の細部まで描き出している。この物語は、読者に多くの感動を与える。荒川芳三郎は、風流奴茶屋の生活に詳しく、その生活の細部まで描き出している。この物語は、読者に多くの感動を与える。

### 風流奴茶屋

荒川芳三郎

風流奴茶屋の物語は、荒川芳三郎の筆で描かれている。この物語は、風流奴茶屋の生活を描いており、読者に多くの感動を与える。荒川芳三郎は、風流奴茶屋の生活に詳しく、その生活の細部まで描き出している。この物語は、読者に多くの感動を与える。荒川芳三郎は、風流奴茶屋の生活に詳しく、その生活の細部まで描き出している。この物語は、読者に多くの感動を与える。

### 風流奴茶屋

荒川芳三郎

風流奴茶屋の物語は、荒川芳三郎の筆で描かれている。この物語は、風流奴茶屋の生活を描いており、読者に多くの感動を与える。荒川芳三郎は、風流奴茶屋の生活に詳しく、その生活の細部まで描き出している。この物語は、読者に多くの感動を与える。荒川芳三郎は、風流奴茶屋の生活に詳しく、その生活の細部まで描き出している。この物語は、読者に多くの感動を与える。

### 風流奴茶屋

荒川芳三郎

風流奴茶屋の物語は、荒川芳三郎の筆で描かれている。この物語は、風流奴茶屋の生活を描いており、読者に多くの感動を与える。荒川芳三郎は、風流奴茶屋の生活に詳しく、その生活の細部まで描き出している。この物語は、読者に多くの感動を与える。荒川芳三郎は、風流奴茶屋の生活に詳しく、その生活の細部まで描き出している。この物語は、読者に多くの感動を与える。



Illustration of a person in traditional Japanese clothing, possibly a character from the story 'Furukawa Yuzo'.











社説

飛行術の進歩と國防

あるか

飛行術の進歩は、國防に對する影響は、如何なるものであるか。これは、今日、我々が最も注意すべき問題である。飛行術は、人類の進歩と共に、一日千里の速で進歩を遂げてゐる。従つて、國防の準備も、それに適應して、進歩を遂げる必要がある。

米國の勢調査

十年間の人口増加

千七百萬

加州の目立つた膨脹

カリフォルニア

アの勢調査

十年間の變化

カリフォルニア

アの勢調査

十年間の變化

カリフォルニア

アの勢調査

十年間の變化

カリフォルニア

アの勢調査

十年間の變化

カリフォルニア

アの勢調査

十年間の變化

國賓待遇の技師

日本よりベルシヤに派遣される鐵道技師

派遣される鐵道技師

派遣される鐵道技師

派遣される鐵道技師

派遣される鐵道技師

派遣される鐵道技師

派遣される鐵道技師

派遣される鐵道技師

派遣される鐵道技師

派遣される鐵道技師

派遣される鐵道技師

派遣される鐵道技師

派遣される鐵道技師

派遣される鐵道技師

派遣される鐵道技師

派遣される鐵道技師

派遣される鐵道技師

派遣される鐵道技師

派遣される鐵道技師

派遣される鐵道技師

派遣される鐵道技師

派遣される鐵道技師

昭和三十四年度の直接税負担

本府文書課調査

本府文書課調査

本府文書課調査

本府文書課調査

本府文書課調査

本府文書課調査

本府文書課調査

本府文書課調査

本府文書課調査

本府文書課調査

本府文書課調査

本府文書課調査

本府文書課調査

本府文書課調査

本府文書課調査

本府文書課調査

本府文書課調査

本府文書課調査

本府文書課調査

本府文書課調査

本府文書課調査

本府文書課調査

盗犯防止

と其處分法

と其處分法

と其處分法

と其處分法

と其處分法

と其處分法

と其處分法

と其處分法

と其處分法

と其處分法

と其處分法

と其處分法

と其處分法

と其處分法

と其處分法

と其處分法

と其處分法

と其處分法

と其處分法

と其處分法

と其處分法

と其處分法

朝鮮に近く施行せらるる法律に就て

深澤法務局長談

深澤法務局長談

深澤法務局長談

深澤法務局長談

深澤法務局長談

深澤法務局長談

深澤法務局長談

深澤法務局長談

深澤法務局長談

深澤法務局長談

深澤法務局長談

深澤法務局長談

深澤法務局長談

深澤法務局長談

深澤法務局長談

深澤法務局長談

深澤法務局長談

深澤法務局長談

深澤法務局長談

深澤法務局長談

深澤法務局長談

深澤法務局長談

金剛山

前田寛

前田寛

前田寛

前田寛

前田寛

前田寛

前田寛

前田寛

前田寛

前田寛

前田寛

前田寛

前田寛

前田寛

前田寛

前田寛

前田寛

前田寛

前田寛

前田寛

前田寛

前田寛

スピード時代

スピード時代

スピード時代

スピード時代

スピード時代

スピード時代

スピード時代

スピード時代

スピード時代

スピード時代

スピード時代

スピード時代

スピード時代

スピード時代

スピード時代

スピード時代

スピード時代

スピード時代

スピード時代

スピード時代

スピード時代

スピード時代

スピード時代

米戰へ

米戰へ

米戰へ

米戰へ

米戰へ

米戰へ

米戰へ

米戰へ

米戰へ

米戰へ

米戰へ

米戰へ

米戰へ

米戰へ

米戰へ

米戰へ

米戰へ

米戰へ

米戰へ

米戰へ

米戰へ

米戰へ

米戰へ







擲軍支部評議會

[illegible][illegible]

朝鮮の電報、  
紙詰し行くと  
が、此等事は  
の研究ありて  
運動最良に  
備うたは既に  
等は露兵に  
は公認す  
に大爲めと臣節  
爲めの制戦で  
との思慮を以  
たと本國の  
は休養中  
は對露兵  
人あつたか

四條、延後九月二十九日迄  
よん、この組は「留水廳」宛  
大問題である。被檢津北流第  
一期修工事には東奥石青里子  
完してゐるが、その他はだ  
設ければ出ず時に際して、々  
この退却は必ずしも好ま  
い願となつて、各方面に防  
に開始された。

即ち西に左衛門郡の外圍は横  
被とも合せて二萬二千九百  
十三間余の防範を新に築造す  
と共、その附屬に既成部とな  
北方、南栗を圍繞せる在來堤防  
斷面を上びその位置を變更す  
要が計七千九百六十三間を修

されてゐたのである。この工事を議員入札  
 制度でとみると、各議員に何れも見  
 込まれることになる。議員退任しては歸つ  
 そこで設計を依頼して、二十  
 五萬千圓が過當好むは、大々大事をとつ  
 てこれを三十萬圓を増額して認可  
 して昭和三年四月から一ヶ年の  
 限で工事を行ふ。土主の部分  
 は解散後の部分となし、議員組が  
 入札に進むのを激怒したとなつた  
 こと、この際を機運を利  
 する計略を擧げて、工事を進めて  
 年後れるうちに、  
 れて、一黨名譽  
 ある。従つてこ  
 にかく不安水利  
 一ヶ月に後れる  
 つることでは、  
 する營業家は、  
 園このうち政府  
 萬六千圓、六號  
 (飛)は多岐城た  
 九十三圓で、最  
 の十間ばかりは  
 この十間だけ  
 の一ヶ年に明て  
 の十間だけ  
 年後れるうちに

|  |  |
|--|--|
| <p>             猛進しつゝ<br/>             料を試ふ時朝<br/>             あるまい<br/>             飛定よりも<br/>             月十二日や<br/>             へこれに要<br/>             十三萬四十<br/>             百か百二十四<br/>             げで九十一<br/>             された 飛定<br/>             島より五千三百<br/>             親つた中央<br/>             英國の金を<br/>             へ、と同時<br/>             に 殿上が一ヶ           </p> | <p>             瑞山邑内<br/>             南方澄惠<br/>             瑞山邑内<br/>             葛眞栗<br/>             井上俊雄           </p> |
|--|--|

|          |        |        |        |        |        |
|----------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 永澤       | 酒田沼田   | 石田     | 酒田沼田   | 竹山郡常盤  | 須々木    |
| 天安釀造株式會社 | 酒田沼田   | 石田     | 酒田沼田   | 竹山郡常盤  | 須々木    |
| 丸日運送店    | 主花井啓次郎 | 主花井啓次郎 | 主花井啓次郎 | 主花井啓次郎 | 主花井啓次郎 |

|                   |            |            |
|-------------------|------------|------------|
| 二<br>郎            | 旅<br>館     | 是四郎        |
| 安城金融組<br>理事<br>山中 | 安城郵便所<br>杉 | 忠南良<br>中央金 |

盛三郎

清人

編纂者 曾社







牛郎四圭

ガソリンの補充を行つた上  
改めて再舉につく

【阿蘇取組】プロムリ中尉、ダクテイ機関士は丹月午前時中央気象臺から受取った気象観測との  
気象通報を研究の結果、よく、限定の午前四時半を期して太平洋横越の壯進につく決意を阿蘇、機敏の  
既戦を踏まへ上つた上、七時、有線船士の援助と多数目茶目茶の見送りを受けてスタートの準備にか  
かり、午前四時二分、猛燃スラストを切り、見送人の萬歳聲雜に、西五メートルを約一分二十秒の滑走

目的地變更か  
アラスカにすれば

[illegible]

前夜から押かける  
弗の國の不景氣振り

[illegible]

ロマンス秘めながらも

【失敬】私が今度母國訪問の期に  
行を遂行したのは甚だ四年前  
にして、其時既に貴國に於て  
として忠孝の義務をつくしてゐな  
う。此後、貴國に於ける生活は

東飛行士忠孝の旅を説く

貴國より一日早く到着したか  
兄弟で 貴國する所定なら  
ば、私は今度の飛行も右の如く  
又私の今の飛行も右の如く

友人後藤君と旅に来てゐるまへ、彼  
等は昨午母國訪問の行を終し  
て、甲申（き）山にて打ちたて  
祝ひながら今度の旅行は一面後

水産局も之を重視  
エトロフ丸事件

[illegible]

會葬者數千名の盛葬  
鎮南浦府外に埋葬

[illegible]

ロンドン兒あへぐ

の勇士が  
「指環」の物語

から十五日まで  
新義州中江鎮間

[illegible]

朝鮮主權中等校野球部  
第二次試合、大連商  
業の試合は引續き州  
から開始された、審  
判、冷水(改)

[illegible]

來月六日から  
低炭部主館の秋季競馬會  
九月六日より東大門外  
手ノールス。

におして聞かれることゝ  
なほ歸日國は六を度た  
て七日、十二、十三、十  
四日間で

# 俄古大學 球圖來朝

「俄古戰」號の六大陸一ツグ  
として星島船のシゴ大  
教授一行十二名は艦上ル  
に乘り來るに應ずる  
人並の人水川より來朝す

○補手、オウゴン、海軍、  
○シヨシ廉府、ジョニヤン  
右義士、中野良、ブバハ  
石、石英、Cジョニヤン  
で石の中野良はホラハン  
JH、ジョニヤン、リンダ  
何れも今春Jズンで開闢  
四割程の打撃を示せるが  
か果れにおける動機は多  
味なるものと推察されてゐる

○歸日國は  
九月廿日 對早大第四回  
同 六日 對第二回  
同 八日 對第三回  
同 十日 對第四回

現代文明の強烈な刺戟の爲  
ウインスロー博士人類墮落説

[illegible]

今朝大阪へ  
藤山に一泊

到着たので、大隈総統は止む  
 べく、横濱へ、同僚の山に一泊  
 十日朝八時山登大隈へ向  
 登することゝなつた

**婦人の皆様**  
 スグ密に立つ置用事と雑誌に  
 刊の名小説讀み、其下體にも  
 る大體つき、婦人倶楽部九  
 来る見大隈阿！

**國產愛用**  
 講演會や展覽會  
 官民一致の邁進

の通關を全館的に行ふべく  
で諸般の事務準備中の處こ  
が成つた、即ち府内では九  
から十月三日まで商工機關

本邦の諸王に内外諸臣此般會を開臨する一方同月四日し各地方においては官廳、團體所生並にもくに國體應用の評價會、活動寫眞展覽會等々々、また東京市には市中中國留學生スター等あり、各學府ではこの機会に卒業せしめ外費をに當該日か明日これが體をこの趣旨に敬致して祝賀會を開催し校長一致してこれ迎へたり、政府のスローガンをて迎進しようとする方が多

奥國に向ふ

午後一時盛んな見送り裡に  
利首府ウイーンに向つた

義捐金  
水害  
（京城附設八月二十九日）  
二十九年四月十四日銀掛公

壹圓七拾四錢

六四三錢全捐對文協  
張所負一兩一十五圓同  
所負一兩一十五圓同  
公州地方法院贖山出張所  
作一四五十錢湯湯出張  
同五十錢京城飛行場稅  
所即乘夫  
合計二百二十八圓三錢  
累計三萬七千九十一錢

特許出願中  
昭和十一年四月八日  
特許出願中  
昭和十一年四月八日

明國文化社  
明國文化社  
明國文化社

明國文化社  
明國文化社  
明國文化社

明國文化社  
明國文化社  
明國文化社

明國文化社  
明國文化社  
明國文化社

明國文化社  
明國文化社  
明國文化社

明國文化社  
明國文化社  
明國文化社

明國文化社  
明國文化社  
明國文化社

明國文化社  
明國文化社  
明國文化社

明國文化社  
明國文化社  
明國文化社

明國文化社  
明國文化社  
明國文化社

明國文化社  
明國文化社  
明國文化社

明國文化社  
明國文化社  
明國文化社

明國文化社  
明國文化社  
明國文化社

明國文化社  
明國文化社  
明國文化社

明國文化社  
明國文化社  
明國文化社

明國文化社  
明國文化社  
明國文化社

明國文化社  
明國文化社  
明國文化社

明國文化社  
明國文化社  
明國文化社

明國文化社  
明國文化社  
明國文化社

明國文化社  
明國文化社  
明國文化社

明國文化社  
明國文化社  
明國文化社

明國文化社  
明國文化社  
明國文化社

明國文化社  
明國文化社  
明國文化社

明國文化社  
明國文化社  
明國文化社

明國文化社  
明國文化社  
明國文化社

明國文化社  
明國文化社  
明國文化社



